

私たちは、理念が示すように、「地域で自分らしく安心して暮らし、安心して働ける」ことを支援する。病気を治すことではなく、生活していけることを目標にする。支援の方法も人の数ほどあり、様々な試行錯誤を重ねながら、地域生活の実現・維持、就労を支援してきた。

障がい当事者および家族の思いに励まされながら、また東京都、昭島市はじめ近隣市町村の支援を受け、さらに、理解ある市民の皆様のお力をいただいて、事業を少しずつ広げてきた。感謝したい。

さて、2023年度は、特に次の2つを評価する。

- ①第3次中期計画完成 2024年度から3年間の計画である。一つひとつの実践を積上げていき、魅力ある活動を実施していきたい。職員にとっても働き甲斐のある活動と職員集団にしていきたい。
- ②田中町移転事業完成 長年苦勞を重ねてきたがついに完成した。ゆいのもりわかばという事業所名となり、常に新芽を出すという思いがこもっている。

次は各項目に沿ってゆいのもりの現状を報告する

1. 決算から経営状況を確認する。年は年度

①運転資金 (流動資産－負債合計) / サービス活動費用計×12 事業活動計算書・貸借対照表より

	2021	2022	2023
食工房	6.3	5.9	6.8
つつじが丘	22	23.4	21.6
田中町	7.4	7.0	7.3
太陽と風	8.3	11.9	13

単位：月

十分な運転資金がある。

②本来事業の収入 障害福祉サービス等事業収益 事業活動計算書より

	2021	2022	2023
食工房	62,836	60,382	63,722
つつじが丘	55,832	60,614	61,794
田中町	46,517	49,259	46,622
太陽と風	53,706	56,767	58,716

単位：千円

順調に収入を伸ばしている。

※太陽と風は家賃補助金 1370万円が含まれていることに注意

③人件費率 人件費/障害福祉サービス等事業収益 事業活動計算書より

	2021	2022	2023
食工房	64	67	68
つつじが丘	61	56	60
田中町	80	74	78
太陽と風	64	51	60

単位：%

70%を超えると将来のための投資・積立が厳しくなる。

※太陽と風は家賃補助金 1370万円を障害福祉サービス等事業収益から控除して計算している。

④損益確保 当期活動増減差額 事業活動計算書より

	2021	2022	2023
食工房	7,832	2,746	6,284
つつじが丘	11,093	12,241	-3,197
田中町	-2,803	-581	65,345
太陽と風	8,634	12,321	9,444

単位：千円

ここから積立をすることを考えると、500万円は目標基準

※2023年度つつじが丘はわかばに約1500万円繰入をしているため、マイナスになっている。

⑤将来の事業展開・大規模修繕資金が準備されているか 施設整備積立金 貸借対照表より

	2021	2022	2023
食工房	27,400	32,400	35,400
つつじが丘	18,680	20,680	22,680
田中町	26,350	27,850	1,500
太陽と風	7,989	8,489	8,989
本部	51,890	60,890	6,930

単位：千円

積立によって、わかばを建設できた。今年度食工房の大規模修繕ができる。今後も、積立を積極的に続けていきたい。

2. 本来事業の実績

①就労支援事業売り上げ

	2021	2022	2023
食工房	17,729	18,298	20,540
つつじが丘	13,715	14,519	15,683
田中町	14,455	14,616	14,874

単位：千円

順調に売り上げを伸ばしている。

②平均工賃実績（就労継続支援B型事業） 単位：円

	2021	2022	2023
食工房	10,394	11,701	20,615
つつじが丘	15,153	15,404	25,058
田中町	13,492	15,146	20,735

算方式が新しくなり、約30%高くなった。

③利用者数

	2020	2021	2022	2023
食工房	27.3	25.6	25.3	26.1
つつじが丘	28.8	28.3	28.8	28.4
田中町	20.4	20.7	19.5	20.9
太陽と風	12	17	17	17

単位：人

食工房と田中町が増加し、つつじが丘はほぼ横ばい。

④就職実績 就労移行支援事業から3名、労継続B型から2名。合わせて5名が就職した。

⑤ショートステイ事業 月平均28日（2022年度25日）の利用がある。約60%が昭島市民の利用であり、地域貢献になっている。宿直体制は、就労系事業所職員の応援により成立している。

3. その他

- ①田中町移転事業
- ・総事業費 2.9億円
 - ・施設整備費補助金 約1.8億円
 - ・法人負担 約1億円
 - ・土地一時金補助 約1.2千万円

②会計ソフト導入 2022年度に導入した会計ソフトに、各会計担当者は習熟してきた。現場で入力したものを、安藤税理士が点検し、見つけた課題を月例の会計会議で報告するという流れができてきた。現場で会計入力することで、経営に必要な収支・財務的視点が身についていく。

③職場環境懇談会 毎年継続している。今年度は、職員間の情報共有の課題と人手不足等の事業所間のヘルプ制度が検討された。情報共有の方法は各所で検討し、ヘルプ制度に関しては大きなイベントは法人全体で協力し合うこと。また応援先の事業に習熟した職員を、職場のローテーションで増やしていくことも確認された。

④虐待防止と身体拘束適正化 隔月で合同職員会の前に開催している。全職員がいる前での開催のため、フィードバックも確実である。虐待防止研修は、事業所ごとに虐待防止マネージャーを中心に実施した。

⑤業務継続計画完成 委員会を作って作成してきた。今後はこの計画を用いて、研修、シュミレーションを重ねていく。

⑥実地検査 2023年度は、田中町とつつじが丘にて行われた。文章指摘事項は次のとおり。

- ・田中町 運営規程の不備（臨時的措置の項目が残っていたこと、虐待防止の内容が不足）
- ・つつじが丘 職員勤務体制表を作成すること、非常災害対策の不足、個人情報同意書を得ていないケースがある。

4. 上記以外の項目ごとの振り返り

項目	前年度より進んだこと、事業計画で実現できたこと	今後の課題
サービス向上	コロナ感染が落ち着き、就労系事業所は宿泊行事を実施できた。	合同宿泊行事を検討する。

安定 経営	1.第三者評価受審(食工房・つつしが丘・田中町) 2.食工房 大規模修繕補助金内示	1.食工房大規模修繕実施 2.業務継続計画完成・研修・訓練実施 3.つつしが丘 あいぽっく休止期間への対応 4.感染症委員会実施・研修実施
人財 育成	・研修委員会主催研修 テーマ:職場におけるハラスメントについて	・主任以上の経営層の女性比率を高める。
その他	1.事業所内の整理整頓が進んだ。 2.太陽と風、つつしが丘、食工房がインスタによる情報発信を開始	1.活動報告 食工房での掲示を継続していきたい。報告会の実施 2.情報発信 楽しんでやれる SNS を利用した情報発信を継続
社会 貢献	1.大学・専門学校への支援 (福祉専門職の実習受け入れ) 2.法務省への支援 (矯正医療センター実習受け入れ、矯正研修所研修生実習受け入れ) 3.東京都保健医療局への支援 (都立看護専門学校の実習受け入れ) 4.講師派遣 (武蔵野大学人間科学部)(東京家政大学健康科学部)(都立看護専門学校看護)(矯正医療センター准看護師養成所)(昭島市社会福祉協議会学習会) 5.昭島市審議会への委員派遣、地域福祉ネットワークへの委員派遣 6.認知症カフェ実施 7.地域家族への協力 8.昭島市主催のイベントへの参加	

5. 理事会実施状況

	(日時)	(出席理事・監事人数)	(決議事項)
第1回	4月25日	8名出席	田中町工事入札
第2回	6月15日	7名出席	事業報告と決算、社会福祉充実計画、評議員会開催、苦情解決第三者委員選考、評議員選任解任委員選出、役員、定期借地契約
第3回	6月30日	8名出席	新役員就任、理事長選定
第4回	7月11日	8名出席	入札報告と契約、借入金
第5回	10月11日	6名出席	入札報告と契約、積立金の名称変更、田中町建設報告
第6回	12月18日	8名出席	上半期収支・補正予算、定期借地契約一部変更
第7回	3月28日	8名出席	食工房大規模修繕、中期計画、就労移行支援事業廃止、事業計画、予算、60歳以降の給与、

6. 評議員会実施状況

	(日時)	(出席評議員人数)	(決議事項)
第1回	6月30日	7名出席	決算、社会福祉充実計画、役員選任、苦情解決第三者委員案への意見聴取